

センターだより

NO. 7

平成24(2012)年1月6日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1

TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412

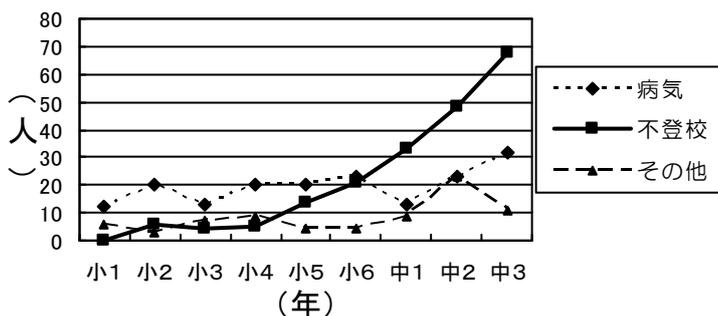
繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

吹田市における長期欠席児童・生徒の現状とその対応

吹田市における1学期末の長期欠席児童・生徒数の内訳は、次のグラフのとおりです。

長期欠席の児童・生徒のうち、各学校の別室での指導や、校内適応指導教室、「光の森」や「学びの森」、「訪問活動」等の適応指導教室につながっているケースは、子どもたちにとって、「自分の居場所」があり、見守りが確保されていると言えます。しかし、「自分の居場所」がないことで悩み、困っている子どもや保護者も見られます。グラフをもとに中学校を中心とした聞き取りの中で、見えてきた吹田市の長期欠席児童・生徒の「課題」を挙げ、長期欠席児童・生徒への具体的対応を考えます。

平成24年度1学期
吹田市の長期欠席児童・生徒の内訳



課題

- ①「小中連携」
「小4～6年の遅刻・早退・欠席」の状況、「登校しぶりの原因」などの情報の共有
- ②「子ども」
発達の課題や子どもの見立てと理解、その対応
- ③「家庭」
子どもに対する保護者の支援

小学校時に欠席や遅刻・早退などの目立たなかった児童が、中学校1年生になっていきなり「不登校になる」割合は、全国調査によると、20～25%にとどまります。

「不登校」という基準で見ると、小学校6年と中学校1年の間には大きなギャップ（不連続）が存在するかのように見えます。しかし、「不登校相当」（欠席は少ないけれど、遅刻や早退の日数が80日を超えている児童・生徒）という基準で見ると、むしろ連続性があり、小学校の「不登校相当」が中学校での「不登校」につながっていると言えます。そこで・・・

ステップ1

基礎的情報の 集中と分類

(3月末)

中学入学予定の児童について、小学校4～6年生時の欠席状況の情報を入手。

(4月初め)

不登校の「経験有り」群と「経験無し」群に分類する。

ステップ2

対人関係 への配慮

(4月初め)

学級編制を工夫する。
学級開きでゲーム等も交えた自己紹介を行う。

ステップ3

- ・チームによる対応
- ・教育センターに相談

- ①「経験有り」群の場合、累積日数が2日になった時点で対応チーム（生徒指導主事、養護教諭、学級担任、教育相談担当者、スクールカウンセラー等）を発足。
- ②生徒本人や保護者との対応、その反応などを記した個人記録を作成。
- ③スクールカウンセラー等教育相談員による見立て（情緒的混乱か否か）と、対応責任者の決定。
- ④週に1回程度のチーム会議。
- ⑤教育センターに適応指導教室への入会を視野に入れた事前相談。

吹田市適応指導教室取組紹介

光の森

最寄り駅: 阪急千里線「北千里駅」 吹田市自然体験交流センター内

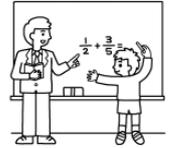
◎日課: 10時~12時 朝の会→学年ごとに45分×2時間一斉学習
(中3は9:15~10:00にも学習)

(月曜日は教育センターで主に美術や技術の作品づくりをしています)

12時~ 昼食 その後フリータイム (月曜日のみ12:45までの活動)

14時半~ 掃除 終わりの会

15時 帰宅



◎ 学習: 中学校は国・数・英の3教科、小学校は国・算の2教科



◎ フリータイム: サッカー・野球・バドミントン・卓球・鬼ごっこ・トランプ・イラスト描き等



◎ **フレンド (学生ボランティア等) と一緒に楽しく過ごしています。運動会や遠足・お楽しみ会等の行事も盛り上がっています。月に1回、自然体験交流センターで飯盒炊さんを実施し、カレーや焼きそば等を作っています。学校行事に参加したり、学校へ定期テストを受けに行く生徒も増えてきました。**

学びの森

最寄り駅: 阪急千里線「南千里駅」北大阪急行「桃山台駅」
竹見台多目的施設内 2階

◎日課: 10時~12時20分 朝の会→40分×3時間 個別対応の学習

12時20分~ 昼食 その後フリータイム

14時50分~ 終わりの会

15時 帰宅



◎ 学習: 基本的には国・数(算)理・社・英
美術や家庭科を学習する日もあります。



◎ フリータイム: 卓球・トランプ・ピアノ・ギター・談話等



◎ **フレンド (学生ボランティア等) がそれぞれの子どもとの会話や学習を通して、学びの森が「楽しい」「行ってみよう」と子ども達が思うようになればいいと願っています。子ども達は自信をつけて表情がとても明るくなってきています。学校行事に参加したり、学校へ定期テストを受けに行く生徒も増えてきました。**

～研修報告～

授業づくり研修 スーパーティーチャーに学ぶ②

『対話』の授業づくり - 確かな「ことばの力」を育む国語教室づくり - 講師 筑波大学附属小学校 二瓶 弘行 先生 in 吹田南小学校

10月12日(金)、今年も筑波大附属小学校の二瓶先生をお招きし、吹田南小学校5年生のクラスで公開授業を行いました。金子みすずの「ふしぎ」の詩を教材に、「対話」を意識した授業のあと、「対話」の授業づくりをテーマに講演していただきました。

授業では、「ふしぎ」の詩の表現の工夫について、子どもたちはペアで、全体で話し合いました。講演では、詩の教材についての解説とともに、対話活動について、ペア対話の重要性やポイントについて教えていただきました。



【感想より】 ◆授業を見せていただいた後にお話を聞き、その内容と授業がリンクして、すごく自分の中でおちました。◆対話することの意義や大切さに気づくことができた研修でした。◆今年から教諭になり、形ばかりを追いかけたいように思います。もっと本質的なことを大切にしなければいけないと強く思いました。



対話活動の流れ

- ① 話題の把握 (自分の考えが持て、交流で高まりや深まりがあるもの
考えたいもの・みんなが把握できるもの)
- ② 心内対話 (文章との対話・教材との対話。次のペア活動を意識して読む)
- ③ ペア対話 (3つの条件: 短く交互に・反応する・沈黙しない)
- ④ 全体対話 (誰に話すかを意識して・聞いたことに反応するよう指導する)
- ⑤ 個のまとめ (自分の考えを再度③④を経て、変化することを期待して書く)

《授業研究》

校内授業研究の活性化

《校内研究授業を充実させるために》

皆さんの学校では1年間にどのくらい研究授業をされますか。また、研究協議はどのような形でされるのでしょうか。

「授業づくり」のポイントの1つは研究協議にあります。今回は研究協議の充実・重要性について実際にワークをしながら学び合いました。



- ・校務分掌で努力目標の長を担当、まさにファシリテーターの難しさを感じていたので今日の学びを活かしたい。
- ・校内できちんと授業研究をやっておらず、体験した手法は初めて。

ファシリテーターとしての役割や進め方も実際にやってみました。キーワードは「同僚性」「協働」「学びの共有化」です。

来年は参加者の希望に応じて、夏季休業中にじっくりと時間をとって研修する予定です。

教育課題別研修

《国際理解教育》

参加体験型学習を通じて世界を学ぶ

～写真で学ぼう「地球の食卓」～



1枚の写真からどんな情報を得ることができるのでしょうか。参加者ひとり一人、気づくこと・感じることもそれぞれ。学びも広がります。

- ・総合学習に使えるという感覚とともに教科(社会科)の授業でつかってみたいと思う写真やアクティビティだった。
- ・生徒の学力の差異に関わらず、誰もが参加できる大変有効な手法だと感じた。
- ・1枚の写真から思った以上に情報を得ることができるんだなあと感じた。
- ・世界の食事・食材が視覚でわかるので楽しめる。
- ・「国際理解」というと敷居が高く感じるが身近な生活に目を向けることも国際理解の1つとわかった。

11・12月 教職員研修予定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象	
ライフステージにあった研修	33①	「初任者による代表授業①」(小学校) 3年 理科 単元「電気で明かりをつけよう」 授業者 千里第一小学校 教諭 風嵐 菜央 指導助言 教育センター 参事 西田 智子	千里第一小学校	11月20日(火) 13:45～	小学校初任者教員 火曜班 小学校新規任用講師	
	33②	「初任者による代表授業②」(小学校) 3年 国語 単元「人物の気持ちを考えながら読もう」 授業者 千里新田小学校 教諭 亀谷 由希 指導助言 教育センター 指導主事 速水 素子	千里新田小学校	11月22日(木) 13:45～	小学校初任者教員 木曜班	
	33③	「初任者による代表授業③」(中学校) 1年 国語 単元・教材「書く」一拠を明確にして書くには一 授業者 古江台中学校 教諭 柳川 りえ 指導助言 教育委員会 指導主事 由上 正幸	古江台中学校	11月13日(火) 13:25～	中学校初任者教員 中学校新規任用講師	
	フレッシュ研修	42 「学校事務職員の役割」 講師 千里第三小学校 主幹 有岡 雅裕	教育センター 実技研修室	11月26日(月) 15:30～	新規採用事務職員 経験年数の少ない 事務職員	
	ステップアップ 研修	50	「ステップⅠ 中学校代表研究授業」 単元「平行線と角」 授業者 第二中学校 教諭 夢田 涼太郎 指導助言 教育センター 参事 西田 智子	第二中学校	11月8日(木) 14:30～	中学校ステップⅠ Ⅱ 受講者
		49	「ステップⅡ 小学校 代表研究授業」 2年 図画工作 題材名「つないで つないで」 授業者 岸部第二小学校 教諭 芝 直樹 指導助言 北山田小学校 指導教諭 石丸 弘美	岸部第二小学校	11月15日(木) 14:40～	小学校ステップⅡ 受講者
		55	「ステップⅡ 選択研修」 日本語適応指導教室「さくら広場」について学ぶ 講師 さくら広場スタッフ	竹見台中学校	11月28日(水) 15:00～	ステップⅡ受講者で、 さくら広場を選択した 者
10年経験者研修 フレッシュ研修 養護教諭研修	38	保健学習研究授業 2年生「喫煙と健康」 授業者 青山台中学校 養護教諭 八野 久美子	青山台中学校	11月12日(月) 13:25～	10年研修受講者 養護教諭	
10年経験者研修	60	授業研究②代表研究授業(小学校) 5年 算数 単元「四角形と三角形」 授業者 千里第三小学校 教諭 中村 保彦 指導助言 片山小学校 指導教諭 有森 清美	千里第三小学校	12月7日(金) 14:30～	小・中学校 10年研修受講者	
教科・領域 研修	授業づくり 研修	112	中学校社会科公開授業・講演 授業者 第六中学校 教諭 福永 千恵 指導助言・講師 大阪教育大学附属平野中学校 副校長 井寄 芳春 先生 ※この研修は中学校学研社会科部の研修会を兼ねています。	第六中学校	12月10日(月) 午後	教職員
特別支援教育 研修	通常学級 支援研修	229	事例研修[学習③] 小学校1年生・視機能と学習について(仮) 事例提示 市内小学校教員 大阪医科大学LDセンター 西岡 有香先生	教育センター 研修室 (視聴覚室から変更となりました。)	11月12日(月) 15:45～	教職員
	支援学級 研修	200	「社会的自立・就労から見た発達障がい支援の課題」 講師 愛媛大教授・愛媛大附属特別支援学校長 花熊 暁先生	保健センター 研修室 (教育Cではありません。)	12月14日(金) 15:30～	教職員(支援学級 担当者は申し込み 不要)
情報教育 研修	授業活用 研修	325	ICT機器を活用した公開授業① 「電子黒板ユニット導入研修」3年理科 授業者 第一中学校 教諭 桂 弘子 ※この研修は情報教育推進委員会と兼ねています。	第一中学校	11月19日(月) 14:30～	教職員
	課題専門 研修	345	「栄養教諭研修」 講師 (株)富士通エフオーエム インストラクター	教育センター 情報科学室	12月6日(木) 15:00～	栄養教諭

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。

最近の『さつきらるーむ』では、研究授業・公開授業の指導案づくりや授業づくりの相談があります。さつきらるーむ参加者の感想を聞くと「いろいろなことが聞ける。」「授業の参考になる資料をもらえた!」と好評です。もちろん授業のことだけでなく、学級づくりやちょっとしたアイディア、時には深刻な悩み事もあります。初任の先生をはじめ、若手の先生、気軽に訪ねてください。

12月のさつきらるーむは、12月4日(火) 6日(木)です。